

112 盈進学園東野高校・多目的ホール

埼玉県 建築設計—C.アレグザンダー、環境構造センター 構造設計—磐田正晴

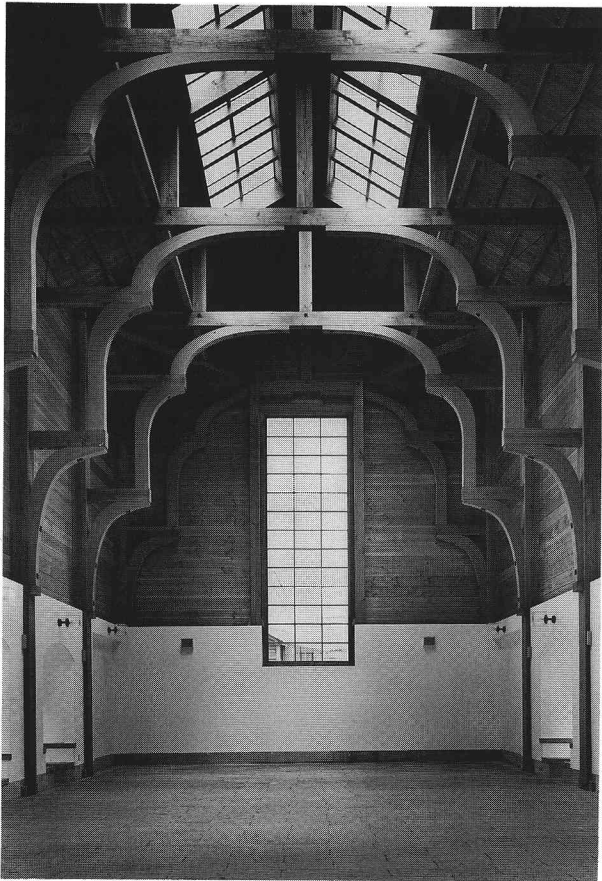
木造、地上2階建、1987年

多目的ホールは平面が9.7m×19.8mの平屋で、屋根高さ12mである。主架構は3.3mの間隔である。

方杖部分は3個の曲がった材（集成材）で構成されていて、

屋根トラスも完全なトラスでなく4辺形の所がある。したがって各部材は、軸力のほか、曲げとせん断力を受ける。

主材は米松で、柱脚は鉄筋コンクリート造である。



左：ホール

右上：平面(S=1/320)

右下：断面(S=1/320)

撮影：大橋富夫

